

# 宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

## 宮崎県第20週の発生動向

### トピックス

#### 重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)

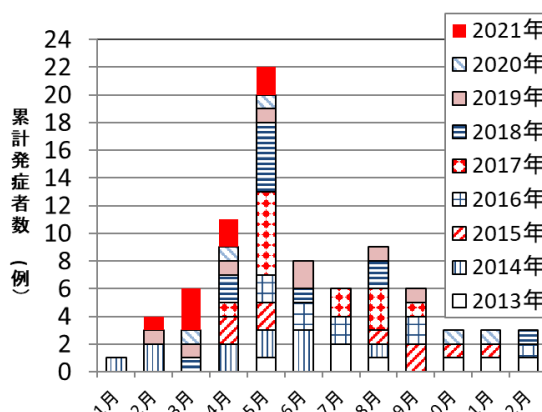
(全数報告の感染症) の報告が高鍋保健所管内からあった。患者は70歳代の男性で、ダニの刺し口があった。県内での報告は、累計82例となった。

#### 県内のSFTS 年齢別報告数(届出開始以降)

20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代
1	1	2	3	20	32	18	5

・**新型コロナウイルス感染症**(新型インフルエンザ等感染症)の報告が135例あり、2021年の累積報告数は2,094例となった。

県内のSFTS月別発症者数(届出開始以降)



### 全数報告の感染症 (20週までに新たに届出のあったもの)

- 1類感染症：報告なし。2類感染症：結核3例。3類感染症：報告なし。
- 4類感染症：重症熱性血小板減少症候群1例。
- 5類感染症：梅毒1例、播種性クリプトコックス症1例。

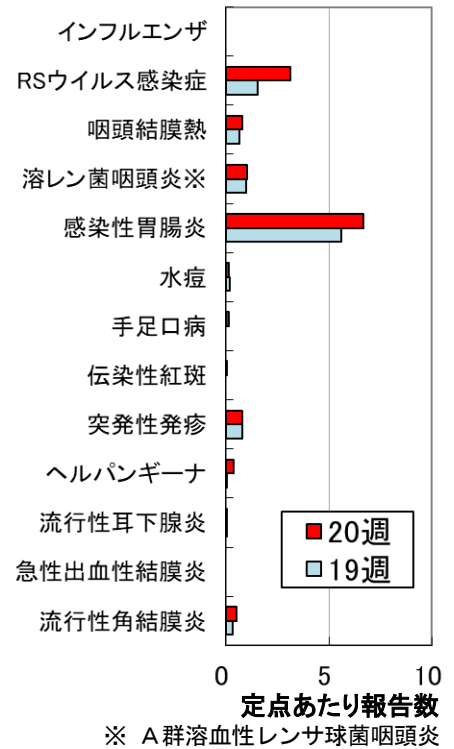
	疾患名	保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	70歳代	女	結核性心膜炎	心膜液貯留
		都城	80歳代	女	肺結核	咳、発熱
		日南	50歳代	男	疑似症患者	呼吸困難
4類	重症熱性血小板減少症候群	高鍋	70歳代	男	—	発熱、食欲不振、全身倦怠感、血小板減少、白血球減少、リンパ節腫脹、刺し口
5類	梅毒	宮崎市	50歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	硬性下疳
	播種性クリプトコックス症	宮崎市	60歳代	男	—	発熱、意識障害、呼吸器症状、真菌血症

### 新型インフルエンザ等感染症 (20週までに新たに届出のあったもの)

○新型コロナウイルス感染症 135例：保健所別、年齢別報告数は表のとおりで、主な症状は発熱、咳、全身倦怠感、嗅覚・味覚障害等であった。

保健所	報告数	年齢群									
		10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	
宮崎市	79例	13	8	10	17	9	6	8	6	2	
都城	36例	2	1	14	5	10		4			
延岡	1例				1						
小林	3例				1	1	1				
高鍋	11例					3	2	5	1		
日向	3例			1			2				
中央	1例									1	
県外	1例			1							

《前週との比較》



□ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は477人(定点当たり13.7)で、前週比134%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はRSウイルス感染症、感染性胃腸炎及びヘルパンギーナで、減少した主な疾患は特になかった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【RSウイルス感染症】

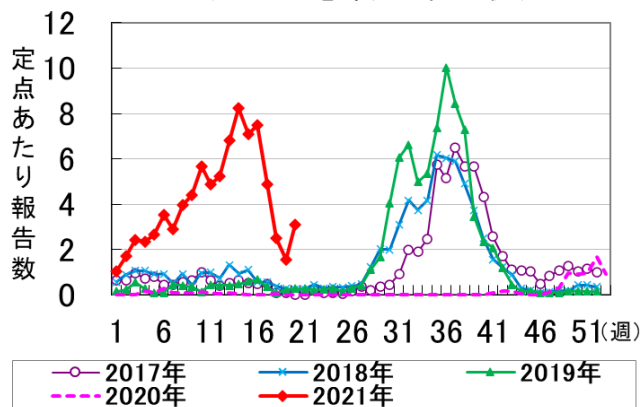
報告数は112人(3.1)で、前週比200%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値\*(0.17)の約18.7倍であった。日向(9.3)、延岡(8.8)、高鍋(5.5)保健所からの報告が多く、年齢群別は1~3歳が全体の約8割を占めた。

【感染性胃腸炎】

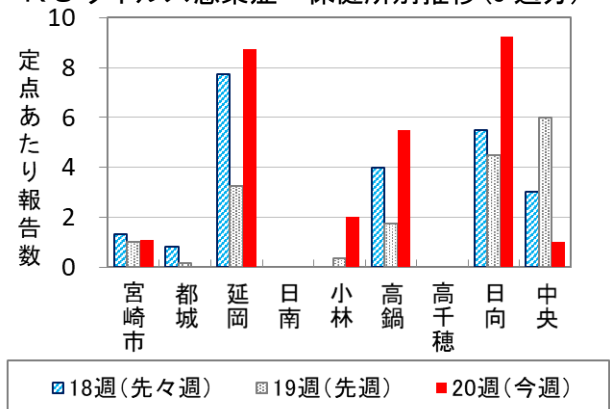
報告数は240人(6.7)で、前週比119%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値\*(7.8)の約0.9倍であった。都城(12.7)、中央(12.0)、小林(10.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は1~3歳が全体の約半数を占めた。

\* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

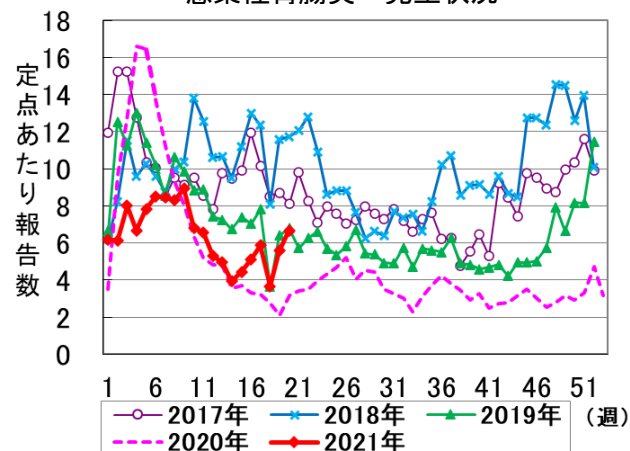
RSウイルス感染症 発生状況



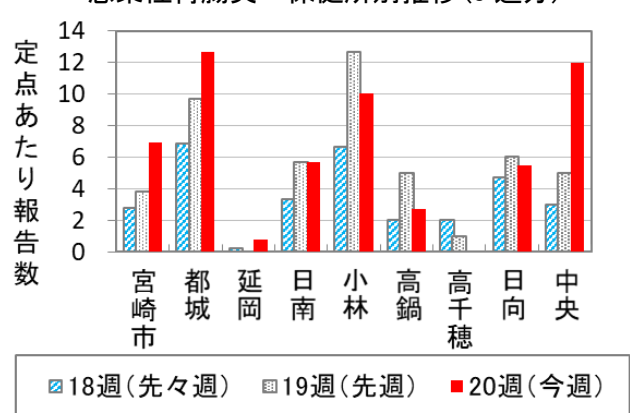
RSウイルス感染症 保健所別推移(3週分)



感染性胃腸炎 発生状況



感染性胃腸炎 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★ 報告なし。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	なし
日南	なし
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	ヘルパンギーナ(11.0)

\* 流行警報レベル開始基準値\*  
・ヘルパンギーナ(6)

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 令和3年5月24日までに検出）

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
EHEC(O8:H9 VT2)	10歳代	女	2021.4.25	無症状	便	2021.5.12

★ウイルス なし。

🇯🇵 全国 2021 年第 19 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	201 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	23 例				
4類感染症	E型肝炎	10 例	A型肝炎	2 例	エキノコックス症	1 例
	重症熱性血小板減少症候群	1 例	つつが虫病	6 例	日本紅斑熱	9 例
	レジオネラ症	17 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	6 例	ウイルス性肝炎	1 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	18 例
	急性脳炎	4 例	クリプトスポリジウム症	1 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	6 例	後天性免疫不全症候群	9 例	ジアルジア症	2 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1 例	侵襲性肺炎球菌感染症	25 例	水痘（入院例）	5 例
	梅毒	81 例	播種性クリプトコックス症	2 例	破傷風	2 例
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	3 例	百日咳	8 例	麻疹	1 例

※新型コロナウイルス感染症の全国の報告数について、現在、発生届の報告を新システム(新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム(HER-SYS))へ移行中のため、移行が終了するまで掲載を控えさせていただきます。

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週（祝祭日の休診含む）比 160%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は咽頭結膜熱、感染性胃腸炎、手足口病及びヘルパンギーナで、減少した主な疾患は特になかった。

R S ウイルス感染症の報告数は 3, 141 人(1.0)で前週比 116%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値\*(0.17)の約 6.0 倍であった。山口県(4.4)、石川県(3.9)、奈良県(3.4)からの報告が多く、年齢群別では6ヵ月から3歳が全体の約8割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は 12, 351 人(3.9)で前週比 180%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値\*(4.8)の約 0.8 倍であった。高知県(15.4)、愛媛県(10.9)、香川県(8.4)からの報告が多く、年齢群別では1歳から2歳が全体の約3割を占めた。

\* 過去5年間の当該週、前週、後週（計15週）の平均

疾病名		第19週	第20週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	56	112	11		35		6	22		37	1
	定点当り	1.56	3.11	1.10	0.00	8.75	0.00	2.00	5.50	0.00	9.25	1.00
咽頭結膜熱	報告数	23	29	8	9	2	2	1	3		4	
	定点当り	0.64	0.81	0.80	1.50	0.50	0.67	0.33	0.75	0.00	1.00	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	35	37	6	3	12	13	1			1	1
	定点当り	0.97	1.03	0.60	0.50	3.00	4.33	0.33	0.00	0.00	0.25	1.00
感染性胃腸炎	報告数	201	240	69	76	3	17	30	11		22	12
	定点当り	5.58	6.67	6.90	12.67	0.75	5.67	10.00	2.75	0.00	5.50	12.00
水痘	報告数	7	6	2			2				2	
	定点当り	0.19	0.17	0.20	0.00	0.00	0.67	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00
手足口病	報告数		5			1	1					3
	定点当り	0.00	0.14	0.00	0.00	0.25	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	3.00
伝染性紅斑	報告数		1	1								
	定点当り	0.00	0.03	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	29	28	11	4	3	2	1	2		2	3
	定点当り	0.81	0.78	1.10	0.67	0.75	0.67	0.33	0.50	0.00	0.50	3.00
ヘルパンギーナ	報告数	2	14	1			1	1				11
	定点当り	0.06	0.39	0.10	0.00	0.00	0.33	0.33	0.00	0.00	0.00	11.00
流行性耳下腺炎	報告数	1	2		2							
	定点当り	0.03	0.06	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	2	3	2	1							
	定点当り	0.33	0.50	0.67	0.50	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2021年第1週～20週)

2類感染症	結核	49例(3)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	14例		
4類感染症	E型肝炎	3例	重症熱性血小板減少症候群	8例(1)
	日本紅斑熱	4例	レジオネラ症	2例
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	ウイルス性肝炎	2例
	クリプトスポリジウム症	1例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例
	後天性免疫不全症候群	3例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3例
	水痘(入院例)	2例	梅毒	38例(1)
	破傷風	1例	百日咳	1例
新型インフルエンザ 等感染症	新型コロナウイルス感染症	2094例(135)		

( )内は今週届出分、再掲